

# 横浜の伝統産業をまちづくりに生かす

安政6(1859)年の開港を機に横浜では固有の伝統産業が発展。特に、絹製品、陶磁器である眞葛焼、横浜焼、横浜家具など職人技が際立つ作品は海外から高い評価を得ました。しかし、現在はその存在は風前の灯です。

横浜市は歴史を生かしたまちづくりを昭和63(1988)年、全国に先駆け推進し、今や美しい都市景観を誇る街となりました。一方、全国に目を転じると陶磁器、漆器、織物、醸造業など伝統産業を生かした街づくりが盛んです。特に重要伝統的建造物群保存地区では顕著。木曽漆器の塩尻市平沢、有田焼の有田市内山、絹織物の桐生市新町など多くが知られ、地域活性化や生活文化香る豊かな街の支えとなっています。

伝統産業を横浜らしいまちづくりに生かす—— 今回を機に、一緒に考えましょう。



横浜 三溪園のハスをデザインしたストール(上)／下左から眞葛焼(個人蔵)／井上良斎窯場の登り窯／横浜家具(個人蔵)

日時

2026年 9月20日(日) 13:30～(受付/13:00～)

場所

ベーリック・ホール  
横浜市中区山手町72

定員

50名(事前申込制)

資料代

500円(ヨコハマヘリテイジサポート会員 300円)

## 申込み方法

8月26日(水)10時からベーリック・ホールにて  
電話または来館で受付 Tel.045-663-5685

※定員に達した時点で締め切りとさせていただきます。

## 主催・お問い合わせ

公益社団法人 横浜歴史資産調査会 事務局

TEL/FAX: 045-651-1730(月・水・金 10:00~17:00)

Eメール: yh-info@yokohama-heritage.or.jp



YOKOHAMA HERITAGE  
公益社団法人 横浜歴史資産調査会

後援: 横浜市都市整備局 都市デザイン室・公益財団法人 横浜市緑の協会



会場のベーリック・ホール [写真: 米山淳一]

# プログラム

## 記念講演

### 「横浜の伝統産業を守り、伝える」

岡部昌幸（帝京大学名誉教授）

## 基調講演

### 「世界を魅了した幻のやきもの眞葛焼」

山本博士（眞葛ミュージアム館長）

## シンポジウム

### 「伝統産業をまちづくりに生かす」

横浜絹織物、横浜家具、眞葛焼、横浜焼を事例として

#### パネリスト

高橋典子（シルク博物館館長）  
山村あゆみ（山村染織工芸代表・手描き染織作家）  
山本博士（宮川香山 眞葛ミュージアム館長）  
※横浜家具の愛好家でもあります

#### コメンテーター

岡部昌幸（帝京大学名誉教授）

#### コーディネーター

米山淳一（公益社団法人 横浜歴史資産調査会 常務理事）

手描き実演中の山村あゆみさん



シルク博物館館内



眞葛焼（個人蔵）



## 講師・パネリスト プロフィール

### 岡部昌幸

（おかべ ますゆき）

帝京大学名誉教授



### 山本博士

（やまもと ひろし）

三陽物産代表取締役／  
宮川香山 眞葛  
ミュージアム館長



### 高橋典子

（たかはし のりこ）

シルク博物館館長



### 山村あゆみ

（やまむら あゆみ）

山村染織工芸代表／  
手描き染織作家



1957年横浜生まれ。早稲田大学第一文学部美術史専攻、同大学院(美術史)修士修了、帝京大学大学院日本史・文化財学専攻教授(美術史)を務め現在同大名誉教授。東御市梅野記念絵画館館長、荏原畠山美術館館長、日本フェノロサ学会会長。専門は横浜開港以降の東西交渉・ジャポニスム。

1969年横浜生まれ。横浜市立大学大学院修了。「お菓子を通して横浜の歴史・文化を継承する」をスローガンに、老舗洋菓子店「横浜モンテローザ」などを経営。横浜が誇る幻のやきものと称される眞葛焼が、多くの人に知られず、忘れ去られつつある現状を憂い、世界各地で作品の探索・収集・研究を続ける。2010年に眞葛ミュージアムを開館し館長に就任。収蔵品の公開や展覧会、講演活動を通じて、眞葛焼の歴史と魅力を広く発信している。

高知県四万十市出身。1987年、筑波大学人文学部を卒業。1988年、川崎市市民ミュージアムに民俗担当学芸員として入職。2018年4月よりシルク博物館勤務。2023年より同館館長に就任。専門は日本民俗学、民具研究。近年は日本の養蚕信仰や庶民の衣生活について調査研究を進めている。

山村染織工芸2代目山村あゆみです。父の工房を継ぎ、手描き染織家として18年活動しています。植物や横浜シリーズなどのデザインや刷毛で表現する色彩が好評で、今年6月にはフランスの国際イベントで展示されました。世界へと活動の幅を広げています。

## 旧モーガン邸再建のためご寄付のお願い ※会場のベーリック・ホールは、J.H. モーガンの設計です。

再建にあたり当公益団体では、再建委員会（委員長水沼淑子）を開催し、再建計画、事業計画等をまとめ、事業を推進中です。再建費用は、日本ナショナルトラストから引き継いだ火災保険金の一部と皆様のご寄付で賄います。目標額は1億円。現在、たくさんのご寄付を賜っております。あと一歩です。引き続き皆様のご寄付を心よりお願いいたします。（常務理事 米山淳一）

個人＝5,000 円（一口）・団体・企業等＝100,000 円（一口）

一口から何口でもありがたくお受けいたします。ご寄付いただいたみなさまのお名前は、再建した建物室内に掲出させていただきます。

\*当公益団体への寄付は、税法上の優遇措置が適用され、所得税（個人の場合）、法人税（法人の場合）の控除が受けられます。詳しくは事務局からご案内しますので、お問合せ下さい。

■振込先：ゆうちょ銀行 ■口座番号：00270-4-124271

■加入者名：公益社団法人  
横浜歴史資産調査会

※「モーガン邸寄付」と  
明記をお願いします。



モーガン邸復元予想図

【お問い合わせ】公益社団法人 横浜歴史資産調査会 事務局

TEL/FAX：045-651-1730（月・水・金 10:00～17:00） Eメール：yh-info@yokohama-heritage.or.jp